



# 湯島だより

令和4年度 4月号  
文京区立湯島小学校  
校長 小池 夏子

## 子供たちの健やかな成長を目指して

校長 小池 夏子

昨年度、開校150周年という節目の年に大きな足跡を記されました歴史と伝統ある本校に、栗原宏成前校長の後任として着任いたしました。子供たちが健やかに伸びていけるよう、力を尽くす所存です。地域の皆様、保護者の皆様をはじめ、湯島小学校を支えてくださっている全ての皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

桜の開花は、いつの年も私たちの心を温かく動かし、新たな季節の到来を感じさせます。学校の桜の花もまた、見事に咲き誇りました。昨今、季節がやや早めに移ろうので、散るのはもう少し待つてほしいと思うところです。それでも、薄桃色の桜の花は、子供たちの新しい学年でのスタートをともに祝ってくれています。

春の日差しに包まれる中、新たに68名の1年生を迎え、全校児童422名で希望と期待の令和4年度、開校151年目がスタートいたしました。お子様の御入学・御進級、誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。

前々日となる4日には、新6年生が登校し、新年度を迎えるための様々な準備をしてくれました。教室の移動に伴う力仕事はもちろんのこと、新1年生を温かく迎えるための教室の準備や装飾にすすんで取り組んでいました。いよいよ自分たちが湯島小学校のリーダーであり、湯島小学校の顔となるのだといった、最高学年としての意気込みが感じられる素晴らしい働きぶりでした。

当たり前のことですが、一人の人間の成長というものは、途切れることなく連続しています。幼稚園や保育園から小学校へ、また、一つ上の学年へという中では、それぞれが子供の成長のために滑らかに接続していることが大切であろうと思います。同時に、このような節目や区切りは、子供たちの成長になくてはならないもののようにも思います。節目や区切りがあるからこそ、子供自身が自分の成長を実感でき、「次はこんなことを頑張ろう」という意欲の高まりにつながっていくと思います。また、こういった節目は、保護者の皆様や地域の皆様、そして我々教職員も子供の成長を実感できるときでもあります。「こんなに大きくなった」「こんなことができるようになった」と思えることは、私たち大人にとっても大きな喜びです。

湯島小学校では、令和4年度も、教育目標である「よく考え、ねばり強くやりぬく子ども」「力を合わせて、人のためにつくす子ども」「じょうぶなからだと心の豊かな子ども」の具現化を目指します。一方で、新型コロナウイルス感染症の状況は決して楽観できるものではありません。子供たちの健康・安全をしっかりと確保していくために、最大限の努力を継続しながら、できる限り教育活動の充実を図ってまいります。御家庭におかれましても、お子様の健康・安全のため、毎日の検温や健康観察等、引き続き御理解・御協力をお願いいたします。

新たな学年を迎えて希望と期待を胸に入学・進級する子供たちのよりよい成長のため、今年度も全教職員で力を尽くしてまいります。本校の教育活動に引き続き御理解と御支援をいただきますよう、よろしく願いいたします。

### 湯島小学校における

#### 新型コロナウイルス感染症の対策について

学校の再開の際には今後示される予定の「文京区版学校感染症対策ガイドライン」に従い、湯島小学校では次の感染症対策を実施していきます。

◇児童を密集させないよう工夫して朝会・集会等を行う。

◇休み時間ごとに窓を開け、換気を徹底する。

◇児童へのマスク着用・手洗い・咳エチケットを励行する。

◇給食時の座席を前向きにし、対面させない。

◇机、椅子の消毒など、よく手に触れる部分を消毒する。御家庭でも毎日の検温や健康観察をよろしく願います。